



北山田小だより



横浜市立北山田小学校
校長 滝川 尚美

「笑顔いっぱい みんなかがやく 北山田の子」
～子ども一人一人とともにあり、その子らしさを大切に育てる学校に～
校長 滝川 尚美

このところ元気がなかった正門の枝垂桜が、今年は可愛い花を咲かせました。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。今年度、65名の1年生を迎え、全校児童495名、教職員43名による、令和5年度の学校生活が始まります。今年度も学校教育目標の実現を目指し、教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

＜今年度の学校経営について＞

「笑顔いっぱい みんなかがやく 北山田の子」の実現を目指し、居心地の良い学校づくりに取り組んでまいります。そして、6年間の小学校生活を通して、子どもたちが自分自身を見つめ、そのよさを将来に生かせるように、また、友達や周りの人たちとの関わりや体験から、多様性の尊重やともに生きることの大切さを学べるように、学校教育目標設の実現を目指してまいります。

○子どもたちが安心して学べる学校づくりに取り組みます

知：進んで学習に取り組み、互いの考えを伝え合うことで、自分の考えを深化させる子を育てます。
徳：思いやりの心を持ち、自分も友達も大切にすることを育てます。
体：よりよい生活習慣を身に付け、健やかに成長できる子を育てます。
公：まちとの関わりを大切に、地域や社会のために他者と協働できる子を育てます。
関：自分を見つめ、他者を理解し、共に生きていこうとする子を育てます。

- ・ブロックごとにチームマネージャーを配置し、担任や専科教員、児童支援専任とともに児童の様子をきめ細かく見守ります。
- ・学級が児童にとって居心地のよい学級なのかどうかを定期的なアンケートや児童一人一人との面談、そして、YPアセスメントをもとに、複数の教員(学年、チームマネージャー、児童支援専任等)で振り返り、児童が安心して学べる集団作りを行います。
- ※「YPアセスメント」は、複数の教員による「学級風土チェックシート」と子どもたちが回答する「学校生活についてのアンケート」の結果によってアセスメントを行うものです。

○教科分担制を全学年で行い、学習や生活へのより適切な支援につなげます

全学年で、教科分担制を導入することで、教科の専門性や指導力の向上により分かりやすい授業の実現を目指します。また、学年全体の児童を複数の教員で指導することにより子どもの思いに寄り添った支援ができるようになります。どの職員も保護者の方のご相談をお受けします。

○算数における学習の確実な定着を目指し、コース別等学習形態を工夫します(3・4・5年)

系統性の高い算数科の学習において、習熟度や課題に合わせて学習内容を工夫した複数のコースを設定して学習を行ったり、1クラスを複数で指導したり、1学級の人数を減らししています。基礎・基本の確実な定着や学習意欲の向上を目指します。また、学習者用デジタル教科書やデジタルドリルを導入し、自分に合った学習方法や進度を選んで学べるように学習を支援します。

※6年生は学校独自の取組で学級数を増やしています。1クラスの学級の人数を少なくし、丁寧な指導を行います。

○地域や社会、他者とのつながりを大切にしたい学びの場、体験的な学びの場作りを行います

地域の教育力や外部人材の活用や他学年との交流の場の設定を通して、地域や社会など「人とつながる」学習、仲間との協働を通じた問題解決型学習に取り組めます。